学校番号	112

平成 31 年度　福祉科

教科	（専）福祉	科目	介護総合演習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	介護総合演習　（中央法規）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習を行うことで介護の実態とその課題を自ら発見することで主体的に介護実習を行えるようにしましょう

2　学習の到達目標

・主体的に介護実習に取り組めるようにする
・介護実習を通して介護における問題を自分自身で考え、介護をする側の意識を持てるようにする

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	高齢者や障がい者の総合的な介護において実践を通して主体的に学ぼうとすることができる。	基本的な知識や技術を活用して総合的な介護において、援助の技術を用いて適切な判断をすることができる。	基本的な知識や技術を活用して総合的な介護において、援助の技術を用いて、適切に表現する。	社会福祉における高齢者や障がい者の介護や技術を科学的に理解する。
評価方法	学習状況の観察 実習記録 レポート	学習状況の観察 実習記録 レポート	学習状況の観察 実習記録 レポート	学習状況の観察 レポート 確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	介護実習とは	介護実習の意義と目的 実習の基礎的な知識理解 ・生活支援技術の確認 ・介護家庭の確認 実習現場の学習と振り返り 振り返りによる整理	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a:介護実習の意義と目的を理解して、実習作業に取り組むことができる。 b:介護の現場において基礎的な知識を用いて活用することができる。 c:基礎的な知識を活用して介護実習を適切に表現することができる。 d:生活支援技術の基礎的な知識を理解することができる。	授業観察 実習記録 ワークシート
2学期	基礎実習Ⅰ	在宅系サービスについて ・訪問介護 ・通所介護 ・短期入所生活介護 介護の場と実習	○ ○	 ○	 ○	○ 	a:介護における在宅系のサービスの種類を理解して取り組むことができる。 b:各種サービスの違いを把握して特性毎の介護の仕方を考えることができる。 c:総合的な援助の技術を活用して介護を行うことができる。 d:介護の場とその利用者の理解をすることができる。	授業観察 実習記録 ワークシート
3学期	基礎実習Ⅱ	高齢者介護施設について ・軽費老人ホーム ・小規模多機能型 ・特別用語老人 ・介護老人保健施設	○	○	○	○	a:高齢者の社会福祉に関して意欲的に理解し取り組むことができている。 b:高齢者介護施設の形態を理解して利用者へのケアを考えることができる。 c:施設の形態の違いによる援助の方法を理解し実行することができている。 d:施設の違いと介護の技術を理解することができている。	授業観察 実習記録 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。